

令和4年度 第3回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和4年10月26日(水) 午後6時30分～8時30分
場所	旭川市神楽公民館 講座室
出席者(委員)	岩永委員, 大橋委員, 工藤委員, 佐藤委員, 佐野委員, 三条委員, 清水委員, 鈴木委員, 中村委員, 猫山委員, 森峰委員
出席者(職員)	高田社会教育部長, 岩崎社会教育部次長, 谷口社会教育部次長, 高桑文化振興課長, 松里文化ホール担当課長, 石原博物館長, 小島社会教育課主幹, 中山中央図書館主幹, 中田科学館主幹, 相馬公民館事業課長補佐, 川瀬社会教育課主査, 伊藤社会教育課職員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	第3回会議次第 資料1 旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて(素案) 資料2 公民館の今後の在り方について(骨子案)

会議要旨

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 議事

(1) 旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて

議長	はじめに, 旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて, 事務局から説明してください。
事務局	(資料1に基づき説明)
議長	事務局からは, 資料1のそれぞれ基本目標1から5までの具体的な素案について皆さんからご意見いただきたいということ, それから市政モニターに関してご意見いただきたいということがありましたが, まずその具体的な素案の評価に入る前に, 今までの会議の経過も踏まえまして, 何かご意見・ご質問があれば受けたいと思いますがいかがですか。
委員	基本的な確認になるかと思いますが, 事業後のアンケートというのは, この対象者は事業の参加者ということでのよいのかという確認と, それに対して市政モニターアンケートの対象者はモニターなので, 事業の参加者とイコールにはならな

	<p>いのかなという風に思いますのでその確認と、市政モニターが市民と言えるかどうかの判断については、このモニターをどのようにサンプリングしているのかというところを説明してもらえれば、判断しやすいかと思しますのでよろしくお願いいたします。</p>
社会教育課主幹	<p>まず一つ目の、事業アンケートの対象者は事業の参加者かということについてはそのとおりです。</p> <p>市政モニターは参加者とイコールにならないということもそのとおりです。</p> <p>市政モニターについては、ホームページ等で市民の方に募集をして登録いただいた方ということになっています。ですから、無作為抽出等で選んでいるわけではなく、希望者に登録していただき回答していただくという形になっています。</p>
議長	<p>市政モニターのアンケートのことが出ましたけれども、まずこのことでご意見いただきましょうか。</p> <p>市政モニターへのアンケートというのは、事業の参加者とはやっぱり少し距離感がありすぎるなというので、私は1つの評価のテーブルに乗せてもいいのかなというのはあるんですね。ですから、市政モニターでのアンケートの蓄積や変化というのは、またそれはそれで次の大きな長期計画、教育の計画に活かされていくのは分かりますし、今回のアウトカムでの評価であるとか、事業アンケートを使いながら、学ぶ者たちの変化というのをどう捉えていくかっていうことは、それはそれでいいと思いますが、一緒にはならないな、ちょっと離れてるなど。先ほど事務局からは、これは別な市政モニターのものとして、というような言葉もあり、むしろその方がいいのかなと思うんです。継続してモニターにかけられるということは大変良いことだし、かけるべきだと思いますけど。その辺が一緒のテーブルには乗らないなと私はそういう気がしました。皆さんはどうでしょうか。</p>
委員	<p>あれから過去の計画、評価報告書を拝見していて、過去の学識経験者の方が、事業不参加の方のニーズをどう取っていくかという指摘があったと思うんです。</p> <p>今、話題になっている市政モニターの方の中には、事業の不参加の方が含まれるのかなと思うのと、そういう不参加者の立場の市民の意識というのはそこで拾えるのかなと思</p>

	ます。
議長	<p>そうですね。事業への不参加者，一般的な抽出した市民ですが，その意見だとか，意識の変化というのは拾っていきける，それはそうだと思うんです。だから行った方がいいですね。</p> <p>事業の評価，各セクションだとか，その事業に基づいての評価とは一緒にはならないですね。</p>
委員	<p>そうですね。そこは色々な要因を分析する時の，検証する一つの判断材料として活用することはできるとは思いますが，事業自体の評価としては含めにくいかなとは思いますが。</p>
議長	<p>はい，それではいよいよアウトプット・アウトカム，今回の一つの本丸に入っていきます。</p> <p>事務局からの説明の中では，目標と評価の項目が合っているかどうか，それからそれぞれの評価指標，それが適切か不足していないかということもありましたけれども，ではそちらの方に進んでいきます。</p> <p>基本目標1「市民一人一人の主体的な学びの機会の充実」のこのページに関しまして，ご意見ある方いますか。</p>
委員	<p>それでは，アウトカムということで，前回，全く空欄だったので，きっとあれだったと思うんですけども，前回の時も言いましたが，流れというものが今の説明でわかるように，まず成果目標ですね。目指す市民の意識・行動，行政の取組ということで，全ての目標が，成果目標がですね，修正案を見れば分かるんですけども，すごくわかりやすく整理されて，何を狙って何をしなくてはいけないということが，狙いとその行政側の取り組みというのが整理されているのがよく見て分かりますし，あとアウトカムというのがなかなか難しい視点ですけども，こんな風にやっていって，市民一人一人の達成状況を把握していくんだなということで，私はこれを見てとてもよくできてるなど。前回こうだったらいいねという話もしましたし，そのとおりになっているので，とても素晴らしいんじゃないかなという風に思っています。</p> <p>ただ一点，これはどうしようもないことかもしれないですけど，やっぱりどうしても成果目標というのは，作る時に現行が元になるせいか，この基本目標1の時，市民一人一人の</p>

	<p>主体的な学びの機会の充実ということから、現行のものもそうなんですけれども、主体的な学びという言葉と直で結びれてないような気がして、もし考えられたらそんなところで見てもいいのかなというような気がちょっとしました。</p> <p>もちろん基本目標から流れていくこの成果目標の狙い、意図するものというのは十分伝わってきて、主体的だとは思いますが、なんとなく生涯に渡って学び続けというのは、主体的な学びというより、持続的な学びというようなニュアンスが多くなるので、もしできることならこんな風なところを、文言を入れることができればいいのかなと思いつつも、意図することも変わってくるので、いいのかなと。</p> <p>基本目標2になると、この学びを支えるということで、修正案は主体的・持続的という言葉が出てきますよね。基本目標1の主体的というのは、基本目標2の修正案のところ为主体的・持続的と出てくるから、そこら辺のところをもうちょっと整合性があるような形で言葉を選択できるとしたらひょっとしていいのかなという風に思います。基本はもうこれで大変素晴らしい内容なので、言うことないんですけれども、もし検討いただけるというか、素案だということに甘えて考えると、それぐらいかなという風に思いますので検討していただくとよいかなと思います。</p>
議長	<p>もう少し精査できる場所があったら精査してほしいということですね。</p>
委員	<p>私は、1か月に1～3回、社会教育の講座やイベントに参加しています。大変興味があるのでいつも行っていますが、先日、三浦庭園のところの旭山公園を歩いてというようなもの、広報誌に載っていたものに参加したんですけれども、その折にアンケートが出てきました。今はどんな内容かなと思いつつも書いてのですが、一般的な年代など色々入っていますが、今この基本目標でいう、縦になっているところの左側の場合は、参加したいと思っているかとか、そういうようなことは答えるのもいいし、設問としても書きやすいと思うんですね、アンケートを作る方の立場に立ってですね。まだ基本目標1は割と具体的なんですけれども、右の方、縦に三列にある右の方に行くと、数値化したいということで、参加者の割合とか、市民の割合、そういう風に数字で表されて、</p>

	<p>どのぐらいなのかなというのを調べて、知りたいということ はよく分かりますが、私も今後例えばそのウォーキングに参加して、 観察会だったのですがそれをどう生かそうとするかというようなこと が書かれるんだらうな今後、という風に思いアンケートを書きながら 来たのですが、まずそれに関心があるから参加しているのですけれど も。それで他のお友達に言ったりとかそういうことはありますけれど も、それをさらに地域や社会を良くするために何をすべきか考えよう と 思っているまでを考えている人は、そんなにたくさんはいないの ではないかという風に思い、それでこう答える場合とか質問をする 場合も難しいと思いますが、具体的に今日は良かったかとか、色んな アンケートがあって、最後に段々こういう項目がついていくとしたら、 ぐっとレベルが上がってしまい答え方が難しいなと思いながら アンケートを書くときに考えていたわけなんです。</p> <p>全て割合などが多いので、デジタルして、なんとかその達成の データを知りたいという気持ちはすごくわかるのですが、段々右の方 行くほど難しい、基本目標の次の3、4などの伝わりますけれど も、なかなか難しいところだなという風に思っていました。</p>
議長	<p>非常に大事な意見だなという風に思いました。</p> <p>それぞれの学びの、その欲するところ、それから各個人の学びの 目標、その成果の観点というのはそれぞれですから。</p> <p>例えばアンケートにしても、こうでしたか、これを生かそうと思 いましたかというのは、ある意味、行政側の学びの目標だとかそう いうものを、学びってこうなんだよって、ある意味押し付けてい るような感じにもなりますよね。</p> <p>こんな大変なことなのか、まあそういう風に導いていくのも大事 なのかもしれないけれども、生涯学習の考えのそれぞれの中にあ るのは、またちょっと別に入っていなくてもいい部分もある。</p>
委員	<p>考え方はよく理解ができました。行政が目指す方向というのが しっかり出ているのではないかなという風に思います。</p> <p>私が気になったのは、基本目標の2というところが、主体的・持 続的に学ぶことができるようにというのが市民の意識・行動になる のであって、この3つが選ばれてる理由がよ</p>

	<p>くわからなかったんですけども。このままではなくて、これを違う形に変えながら、市民の意識・行動という風に変えていっているのか、お聞きしたいです。</p>
社会教育課主幹	<p>すいません、私の作業が間違っており、基本目標 1 と 2 の内容が違っていて、整合性が取れていませんでした。</p> <p>もう一度作り直し提案し直します。</p>
議長	<p>基本目標 3, 4, 5 については大丈夫ですか。</p>
社会教育課主幹	<p>申し訳ありません、3, 4, 5 は大丈夫です。</p>
議長	<p>1 と 2 は、少し色々な事が整合性が取れていないということですね。先ほど委員から指摘あったところもそこですね。</p>
委員	<p>そうですね、わかりました。</p> <p>ただ整合性ができているのが、取り壊れてしまったから、変だなという風な指摘になったと思います。</p>
議長	<p>今説明を聞いて、1 と 2 をもう 1 回やり直すということにはできないと思います。時間的なことも含めて。</p> <p>ですから、基本目標 3, 4, 5 で、何か文言であるとか、評価指標のことについてご意見があれば出していただいて、今日のところのまとめとしたいと思いますが、御意見ありませんか。</p> <p>先ほど事務局の方から、アウトプットのところも含めて、「■」が、今現行の評価で、新しく「・」で表されているところが、新たに加えられた評価指標ということで説明がありましたが、これもちょっと漠然としたところで、事業をしっかりと見つめて評価し、次につなげるというのは、何人かの委員からも出ているようにとても良い指標だなと思いますが、果たしてこれからこの増えた指標について評価をしていく、評価にかける労力はどうなのかと思っています。この辺が、アウトカムという意識でも評価をしないといけないし、アウトプットに対しても新たな指標が出てくるとなると、今の事業に関わってる方々、それからそれぞれの施設の方々にとっては大変なご苦労になると思ったんです。もうちょっと整理できないかなと。</p> <p>私も教育の現場にいるときに、やっぱり評価はたくさんすればたくさんするほど見取れるんですけども、あんまりやると評価のための評価みたいになって、評価をやった段階でいっぱいいっぱいになって、本当に何を見て何を進めればい</p>

	<p>いのかということがわからないので、たくさん人がいて環境が整っているとできると思いますが、私も社会教育の現場にいたものですから、大変なことだと心配したりもしました。</p> <p>もし、素案から最終的なところに行く時に、もう少し整理できて分かりやすいものになればなという風に思いました。これは私の個人的な意見です。</p> <p>その他何かご意見ありましたか。</p> <p>大体今日の所のご意見は出たと思いますが、事務局には、基本目標 1, 2 について直したものはなるべく早く、また送付していただきたいと思います。</p>
社会教育課主幹	<p>すぐ送付いたします。ご意見があれば 11 月 7 日、2 週間後ぐらいまでにご意見いただければと思っていますので、その前にお送りさせていただき、ご意見をいただければと思います。申し訳ございません。</p>
議長	<p>はい。なかなか難しい問題ですし、今ちょっと意見を交わした中で、またなるほどなと思われた方もいると思うので、直した素案をなるべく早く送ってもらい、それに対するご意見を事務局の方に出してもらえればという風に思います。そういう形でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>目標 3 から 4, 5 ということで、先ほども委員の方が仰っていましたが、目標と評価の観点が揃っている。後はやはりアンケートもあった方がこちらが達成しようとしている目標と現状とこれからの対策というのが、1 つの流れで見やすくなるのかなと思うんです。</p> <p>集計する時に、やはり定量的な手法の方が、経年変化も見やすいですし、定量で測れるところは、先ほど他の委員が仰ったように、中身というか質を測るようなところも、これは過去の先ほどの学習経験者からの指摘等も踏まえれば、考えるべきところかなと思うんです。</p> <p>そういう質的な調査をする時には、どうしても聞き取りとかインタビューみたいな、そういう方法も取る妥当性はあると思うんです。そうすると、ただそれを全部集約するということは難しいのですが、モニターアンケートのように抽出して、参加者の中に、生の声を評価のところで拾って、それに対応付けられればいいと思うんです。その回答された方の居住地とその方の生活・ライフスタイルと、その方の意見と。そう</p>

	<p>するともう少し問題が、現状も把握しやすくなりますし、問題も取り上げやすくなるのかなという風に思います。</p> <p>量で測るより、個別に見ていくということも、評価の整理ということでしたので、そこに含めて検討してもらえればと思います。</p>
議長	<p>継続したアンケート評価の取り方として、事業参加者の中からも、例えば抽出して、継続して、評価をして、その心の変化だとか、その辺りを見取っていくということもできればいいですねというご意見ですね。事務局の方で検討していただければと思います。</p>
委員	<p>私も社会教育に携わったことがある立場から考えてみても、参加者の立場から考えてみても、一番左の方の縦で見ると、個人、それから人と人が和が広がっていく社会全体的にはそうなってほしいという想いだと思うんですけども、これは個人のことでも評価します、これも頑張ります、こういう風に行政として頑張りますという感じで、それぞれ公民館の方、色々しなくてはいけなくなってくるんですけども、これにはイベントの仕掛けというのがあって、まず1つ、講座で言えば講座をする、そうしたらそこで色々経験した人が講師でも何でもなって、そうしたらそのことであの他の人たちも色々な年代が入ってくるようなとか、そういうようなイベント、ちょっと小さな講座やった上に、統合したようなイベントを作って、それに色々な人が来るということは、意識が高くなっているんだとか、何かこう見取りやすいイベントの仕掛けとか、そういうこともしながらやらなければ、これ全部やります、やります、ものすごい大変。議長も仰ったように集約できるのかな、大変だみたいになってしまっていて疲れてしまうという。上手に仕掛けて、市民同士でやっていこう、広がっていこうという風な、意外にそういうものがあまりないような気がしていて、仕掛けなども考え、助けにも助けられてこういうのをやっていかないと、とても計画倒れとまでは言いませんが、とっても大変だという風に感じます。</p>
議長	<p>本当に社会教育の評価は、前回も言いましたが難しい問題なので、事務局も苦労されていると思います。</p> <p>この後、皆さんからのご意見をいただきながら、次回の時にある程度まとまった形で出してもらおうということをお願い</p>



	します。
--	------

(2) 公民館の今後の在り方について

議長	次に、議事（２）公民館の今後の在り方について、事務局から説明をお願いします。
公民館事業課長	（資料２に基づき説明）
議長	ただ今の説明について、何か意見・質問はありますか。 公民館の答申につきましては、社会教育委員の会議が母体となって答申しましたので、進捗については細かく諮ってもらえるととてもありがたいです。よろしくお願いします。

4 その他

5 閉会